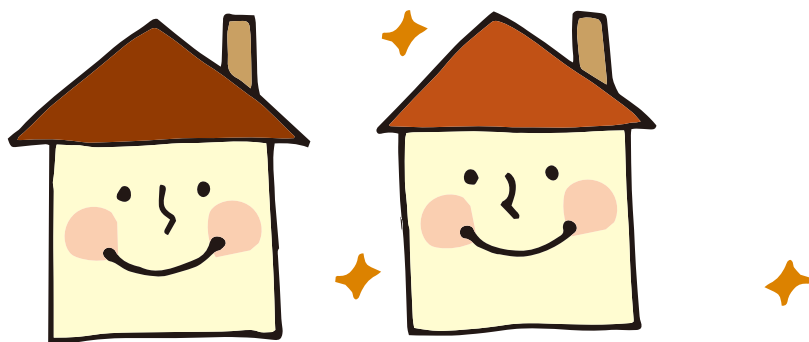


# これで安心！

失敗しない外壁塗装マニュアル

7つのチェックポイント



# はじめに

「そろそろ塗替えの時期かな・・・」

「以前に依頼した業者はひどくて、手抜き工事で大変な目にあった。」

「色々な業者が家に来て、塗装をすすめるけど・・・」

このような不安や気になる事があつて、あなたはこのガイドブックを申込みされた事と思います。

私たちは毎日のように「高品質と・・・が○○○円!!」  
と書かれたチラシや広告を目にしています。

ある時には、新聞に折り込まれたチラシ。

ある時には、営業の訪問。



でも、何を基準に何を目安に、判断してよいか分からず不安なまま。  
せうじや、

「見積りの相場はどれくらいなんだろう・・・。」  
料金はとても重要な判断材料です。  
不安になるのは当たり前です。



「限られた予算だけれど、出来るだけ、可能な限り、今の家を長持ちさせたい。見違えるようにきれいにしたい。」そして、せっかく家を生まれ変わらせるのだから、『絶対に失敗したくない!』そんな期待と不安の中で、何を判断基準にして良いのか分からない。

しかし、予算が限られていたって、失敗しないポイントを押さえれば、必ず想いは実現できます。

このガイドブックには、そのための必要な情報が、ぎっしり詰め込まれています。

この本は、実を言うと、本屋さんで売っている当たり前の事しか書いていない本とは百八十度異なります。なぜなら、私たちが本当に知らなければならぬのは、業界も公表していない「塗装」業界の秘密 なのですから。

このガイドブックを読み終わった時、

- ◆良い業者を選ぶポイントは何なのか。
- ◆家を長持ちさせるには、どうすればよいのか。
- ◆どんな業者なら良心的なのか、そして、どうやって見極めればよいのか。
- ◆限られた予算の中で、どれが一番私に合った塗装なのか。

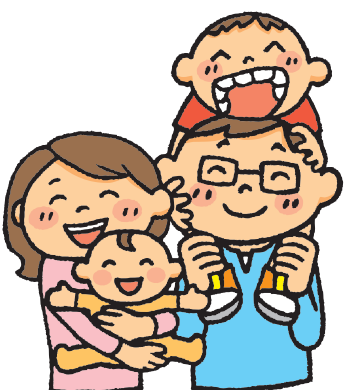
など、思いどおりの塗装工事をするのに、絶対に欠かすことのできない判断基準を身につけることができます。

## そもそも、「家」とは？

家は高価な買い物です。

最愛なる家族の大切な笑顔のために手に入れた、

人生で一番大きな買い物ではないでしょうか。



その大切な家は、二十年、三十年という気の遠くなるほどの長いローンを支払うことを決意し決断したことで、ようやく手に入れることができました。人生で最も価値のあることだと思います。

その大切な家を長持ちさせたくて塗替えたのに、「塗装したけど気に入らないなあ」といつて、簡単に交換するというわけには到底いきません。

大切な家を長持ちさせたくて塗装を依頼したのに、業者がその心情を理解せず、むしろ雑に工事をされて気分を害したといつて後悔しても後の祭りです。

だからこそ、誰もが大きな不安を感じるのです。

- ◆ 高い見積りを突き付けられないだろうか。
- ◆ 何も知識がないのだけれど、それでも塗装して失敗しないだろうか。
- ◆ 業者から見積りを出されたけれど、これは相場の金額なんだろうか。
- ◆ 安いけれど、本当に大丈夫なんだろうか。
- ◆ この塗装方法で、後悔しないだろうか。
- ◆ 健康に有害な多量の材料を、知らないうちに使われたりしないだろうか。
- ◆ 業者を信頼はしたいけれど、本当に良い仕事をしてくれるだろうか。
- ◆ 私の大切な財産が手抜き工事されないだろうか。
- ◆ そして温もりの詰まった私のお家は長持ちするのだろうか。



真剣であればあるほど、不安は増すばかりです。

今のまま、何の判断基準も得られない状態で、大きな「賭け」「バクチ」をするのは非常に危険であり損失になります。少なくともこの本の読者の方だけでも、それだけは避けていただきたいと思っています。

このガイドブックは、簡単に読んでいただけるように専門用語を避け、どんな方が読んでも伝わるように、出来るだけわかりやすい言葉で書きました。

大切な家を塗り直しして、あなたは満足して笑うか、それとも、トラブルになって泣くか。

ぜひ、このガイドブックを読んでみてください。



## 第一章 何も知らずに依頼するとどうなる？

あれは二年前でした。

あるお客様から電話があり、こんなことがありました。

「家の中に雨染みができているんだけど、来てみてくれない？」

伺って壁を見てみると、驚いたことに、本来きちんと処置されていればまったく問題なかったことなのですが、防水処理が行われておらず、その箇所からヒビが入って、中に水が入り、木が腐りかけていたのです。

もう少し診るのが遅ければ、木は腐り、建物の寿命を縮め、余計な費用がかかるところでした。

私 「どうして、この業者さんに依頼されたのですか？」

お客さま 「いやあ、チラシや広告で見つけた業者に見積りを

一、二社とつて安かったから。まったく、失敗したよ！」

私 「どうしてその業者に補修を依頼しないのですか？」

お客さま 「いやあ、つぶれちゃったよ。」

どっちにしる、その業者はうちから遠かったからダメだよ。」

価格はとても重要です。

なぜなら、当たり前のことですが、家の外壁塗装リフォームには高額な費用が発生するからです。しかし、どうしても費用がかかるもの、必ずやらなければいけないものはあり、その価格だけを判断基準にしてしまつては、取り返しのつかないことになりかねません。

服であれば着ないこともできます。

行ったレストランが美味しくなければ、もう二度と行かなければ良いです。

しかし、家は違います。

一生、あなたとご家族が住まわれる大切な大切な「場所」です。

間違つた判断基準で業者を選んではまつては、悔やんでも悔やみきれません。

「もっと早くに知っていれば」「塗装をする前に知っていれば」という言葉も、何度聞いたかわかりません。

塗装工事は、「家」という大切な財産を長期で守るものです。その温もりの詰まつた財産は塗装工事によって、良くも悪くも変わってしまいます。

どうか、後悔や損失をしないように切に願います。

## 第二章 本や雑誌で書かれている常識は間違っている？

巷には、たくさんの住宅関連の本や雑誌があります。

さきほど例としてお話させていただいたような、お客様の被害や後悔が多々起こっているからです。

**そもそも、なぜ家の塗り替えが必要なのでしょう。**

晴れの日も、雨の日も、風の日も、家を守り続けている家の壁。

もし、私たちの肌が常に、太陽に照らされ、紫外線を毎日浴びて、雨にぬれ、風に吹かれていたらいったいどうなるでしょうか。

そうですね、肌は荒れてボロボロになってしまいますよね。外壁も同じです。

そして当然のことながら、放っておけば住宅さえも傷めてしまうのです。

その外壁を真夏の日光や暴風雨、そして冬の雪・結露などから保護する役目が塗料です。

外壁は家の「顔」です。外壁を女性の顔に例えるならば、塗料はお化粧のようなものということになります。

だから・・・

**家を長持ちさせることができる最良の方法は、「塗装」です。**



よく本屋でみかける雑誌、テレビで取り上げられているリフォーム前後の番組。

家の中、つまりキッチンやトイレ、お風呂など住みやすさや快適さばかりが中心に伝えられています。

誰も「塗装」の大切さを伝えていません。

**一番傷んでいるところ、毎日毎日傷みをうけているところは、屋根や壁です。家のどんな箇所を手直しするよりも、屋根や壁の塗替えをするのが一番の、家が長持ちする最良の「薬」なのです。**

これは、本当です。断言いたします。

でも、その塗装の大切さや、家を診てどこの部分が傷んでいるか、それを放っておくとどうなるか、なぜそうなったのかをきちんと伝えてくれる業者は、正直少ないと思います。

そして、巷の本屋に並んでいる雑誌や本には、どの業者のどんなところが良くてどんなところが悪いのか？ということは、どこを見てもなかなか書いてないのも事実です。

書いてあったとしても、抽象的であいまいな表現が多く、結局、お茶を濁したような事しか書いてないのです。

家を長持ちさせることができる最良の方法は、「塗装」です。  
大切な財産を守ることが出来る最良の方法は、「塗装」です。

次の章からは、家の塗替えを失敗しないためのポイントお伝えします。重要なチェックポイントを七つにまとめました。

### 第三章 これ心安心！

## 家の外壁塗装を失敗しないための 7つのチェックポイント

さあ、ここからがとても重要なところです。  
ぜひ、読み飛ばさずに、じっくりと読んでみてください。  
必ず、あなたの塗装工事に役立つヒントがあります。



### 「チェックその1」 いつが塗替え時期の目安なの？

新築から3年近く経過するといろいろな箇所に傷みが生じてきます。これらのすべてが今すぐ危険というわけではありませんが、塗替え時を知らせる合図です。

そこで、業者を呼ばなくてもあなた自身が塗替え時期をチェックできる項目をご紹介します。まずは業者を呼ぶ前に、あなた自身の目でいろいろと  チェックしてみてください。



■自分でできる塗替え時期のチェック項目

1、壁



ヒビが入っている

外壁も呼吸をしています。夏の暑い時期には膨張し、冬の寒い時期に伸縮します。壁がそれを繰り返すことで、ヒビが入ります。



割れている

外壁の吸水がひどくなるとボードの動きが活発になります。釘は動かないため、「ヒビ」から「割れ」に症状が悪化します。



粉が手につく

塗料は主に樹脂(油分)と顔料(色の粉)で、できています。年数が経つと劣化し、粉だけの状態になります。防水効果がない状態です。



目地が傷んでいる

サイディングボードの場合、ボード間の目地部分が傷みやすいです。目地にヒビ割れや隙間などが出てくると劣化の合図です。

2、屋根



コケやカビが発生

水はけが悪い状態が続くと屋根にもコケが生えます。屋根の隙間がコケで埋まって家の中に入り、雨漏りの原因になります。



色あせている

年数が経つと、塗膜が劣化して表面が色あせます。水はけが悪い状態なので、放っておくとコケが生えて、さらに悪化します。



釘が出ている

ストレート瓦の屋根は築7~10年で釘が出てきます。放置すると釘穴から雨水が浸入し、中の木材が腐り多額の工事費用が必要になります。

3、鉄部や木部



はがれている

木部の傷み方は、それぞれ違います。紫外線で表面の塗装がはげたり、逆に湿気によって木部の中まで腐食が進みます。



サビがでている

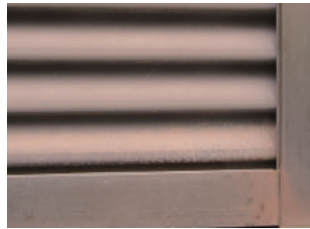
雨水などにより、劣化した塗装がはがれます。放置しておくと、サビや腐食が広がり、穴が空いたり事故の原因になります。

#### 4、その他（雨戸など）



##### 雨漏りしている

雨樋のヒビ割れや破損は、お家の寿命を早める原因にもなります。定期的に点検や、ゴミ取りをして雨水を流せるようにしましょう。



##### サビがでている

雨戸のサビを放置しておくと、腐食が進んで穴が空いたりします。特に、海の近くだと塩害があり、より腐食が進みやすくなります。

これに一つでもチェックが当てはまる場合は、塗装工事を始める目安になります。そして、その塗装工事を依頼するための業者選びのポイントが、次のページから書かれています。注意して読んでみてください。

## 「チェックその2」

### その業者は創業から長く活動している会社であるか？

どのお客様もご存知ですが、お家の工事を業者に依頼するのに、一番大切なのは「その会社が信頼できるかどうか」です。

「当たり前じゃないか！」とお叱りを受けるかもしれません。

しかし、その信頼できる業者選びのポイントを、塗装工事特有のチェックポイントとして、これから詳しくお伝えしていきます。

まず、信頼できるかどうかの大きな基準のひとつは、その会社が長く活動しているかという点です。これは、非常に重要なポイントのひとつです。

なぜなら、**長く活動できているということとは、それだけ多くのお客様に長く支持いただいているということだからです。**

創業何年の会社なのか？地域で長く活動しているか？  
どのような姿勢で活動してきたのか？

とても簡単で当り前のことかもしれませんが、意外と見落としてしまう部分です。  
「創業何年の会社なのか？」  
ぜひ、最初にチェックしてみてください。



### 「チェックその3」

#### その業者は工事前・工事中・工事後の写真を多く撮っているか

まず、写真は非常に大切です。写真の数が、その業者の工事に対する責任感に比例すると  
言っても過言ではありません。

なぜなら、通常、見積り前に家の点検を実施しますが、その際に撮影した写真をもとに  
不具合や補修が必要な箇所の正確な見積りを提出して、工事が始まった時もそれら写真を  
もとに職人と打合せをして工事をすすめるからです。

点検時の家の状態をきちんと把握して職人と工事をすすめていかないと、後に問題が発  
生する場合があります。

「実は、こんな箇所にも問題があった。」

「先に、ここを手直ししなければいけなかった。」

などと、後で判明して、追加工事をしなければならないという事態になってお客さまに

負担がかかるからです。

または点検時に注意点としてあげたものが実際は伝達ミスで工事が行われていない場合があります。よくある「ここもやる」といったのに」という残念なことになるのです。

ですから、写真をきちんと撮っていない業者は論外です。工事前の写真、つまり見積り前の点検時の写真は本当に重要です。

しかし、ここでひとつ絶対に忘れないで頂きたい、大切なことをお話しさせていただきます。

それは、**工事前つまり点検時には写真を多く撮る業者はいるけれど、いったん、工事が始まるとほとんど写真を撮らない業者がいる**という事実です。

なぜでしょうか・・・？

それは、ずばり、「契約を取るためだけ」だからです。

点検時に何十枚ものたくさんの写真を撮り、家のどこが傷んでいるかを写真で細かく見せて、今工事をしないと大変なことになると不安を煽り契約するように促す・・・

そのような業者にとって、「点検時に写真を撮る大切さ」とは、「契約を取るために大切」ということなのです。

そのような業者は、いったん工事が始まるとほとんど写真を撮りません。



## POINT 写真をたくさん撮ってくれる業者？



点検はおおよそ1時間から1時間半くらいかかります。点検中はきちんと写真を撮っているか確認しておきましょう。工事をする前にどこかの補修が必要かなど、正確な見積りを出す資料になります。また、工事が終わった後も、その写真と見比べる事で工事が正確に行われたかチェックができます。

工事後の写真も撮りません。

なぜなら、すでに契約を取っているから、そんな労力はかけたくないですし、かける必要がないと思っています。

契約を取ることに重点を置いた、いわゆる「営業専門会社」によくある話です。

では、工事中の写真が少ない場合、どのような弊害が生じる可能性があるのでしょうか。

まず、工事中の写真が不足していると、工事過程で家の状態がどう変わったのか把握できず、不具合や補修するべき箇所の工物品質管理が不十分になってしまいます。

工事後、また仮に手直しをする場合、これら写真がないとどのような状況になっているのか分からず、きちんとした対応ができません。不具合や補修箇所がどうなったのか、もし見えない屋根や二階だったらどうなりますか？

履歴が残っていないのは非常に怖いことです。

確かに、たくさんの写真を撮ることは手間がかかることです。

非常に面倒くさいこともあります。

しかし、だからと言って、ただ単純に、点検報告書用や見積書向けに、さらに言うならば契約を取るために撮った程度の写真であるならば、それは、業者のあなたの家の工事に対する真剣さがその程度という判断をしても、間違っていないでしょう。お客さまの大切なお家を守るのではなく色を付けるといふ工事なら、その程度でよいでしょう。

**「施工前・施工中・施工後写真の量は、業者のその家に対する責任感に比例します」**です。

しかし、通常の業者であればきちんと写真は撮っていると思います。

今、お話しているのは、その**写真の「量」**のお話です。

見せてくれている写真以外に、どれくらい撮ったのかを知ることが、ここでのチェックポイントになります。

それを見極めるために、「点検時に撮った写真全てを見せてください。」見積り時や点検報告書内で提示されたものだけでなく、「撮影した写真全てを見せてください。」と試してみてください。

そして、一番その業者を見極める「魔法の質問」は、

**「他のお客さんの事例として、工事中の過程がわかる写真や、工事前後 (Before・After) の写真を見せてもらえますか?」**

それで、きちんと提出してくる業者、またその内容が豊富な業者は合格点です。

点検時、つまり、契約前の写真がやたらと豊富なのに、工事中や工事後の写真がない業者は、本当に要注意です。

「契約を取る ためだけ」に点検時に写真を多くとる業者であり、工事中や工事後は、お客様の家に対する責任感がほとんどないという証拠です。

提示できない業者は、絶対に注意してください。

「業者を絞った、さあ、見積りをとろうか。」

でもちょっと待ってください。


もし、見積り依頼した業者側が少しでも急がせる素振りを見せた時は、ちょっと立ち止まって見てください。

本来リフォームの見積りとは、その場に三十分程度の短い時間いたくらいでは出せるようなものではありません。お客様からの信頼性が高い業者ほど、見積書の作成には慎重です。

まずは、現況をじっくりみてプロとしての見極めをし、ありのままをお客様に報告する。こういう真摯な対応が信頼に繋がることを知っています。

すぐに見積りを出したがる業者の本音は、結局のところ、その場でつとり早く契約を取りたいということでしょう。しかし、きちんとした調査がなされていない見積りで始めた工事は、終わってから追加料金を請求される可能性もあります。

**POINT** 過去の工事を見せてもらおう！



工事前と工事後の写真は単に塗装をした証拠だけではありません。施工中や工事後の写真を提示出来るという事は、工事に自信を持っている証拠でもあります。ぜひ、工事を依頼する前に他の施工事例を見せてくださいと聞いてみましょう。

そのためには・・・

**点検報告書は必ずもらいましょう。そして、それに対しての見積書をもらいましょう。**

そして、見積りをとろうとして・・・

最近多いのが、ディスカウント量販店のようなチラシ。

**「今なら、外壁塗装が〇〇〇円の30%割引!!」**

**「まるまるパッケージで〇〇円!!」**

そして、ほとんどの雑誌や書籍などには見積りは数社から取って、比較検討すべきと書いてあります。

確かに、家の塗替えは大きな費用がかかります。

大切な家の工事を失敗しないためにも、ひとつの業者だけでなく、二、三社見積りをとって比較した方が良いでしょう。

しかし、この時に注意していただきたいのが、

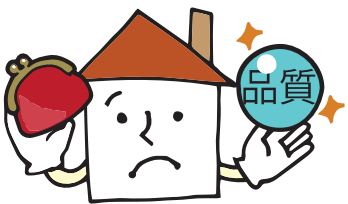
**「価格だけを見ると失敗する可能性が高い」**

ということです。

どういふことかと言いますと、業者はやはり工事の依頼が欲しいです。

あなたはたった一言、「予算が厳しいから、あと二社にお見積りをお願いします。」と業者にいうだけで、業者を緊張させることができます。ですが、業者はもしかしたら必要な部分を削って合計金額を減らすかもしれません。

こうした大切な情報は、実は、見積書では表現しきれない部分でもあるわけですから、合計金額だけで判断するのは十分に注意して下さい。



## 「チェックその4」

その業者はあなたの家からどれくらい離れているか？

一時間以上もかけて営業に来る業者がたくさんあります。

なぜ、会社近辺の市内でなく、わざわざ時間をかけてコストをかけて、遠い市外まで営業に来るのでしょうか？

片道一時間、往復二時間、作業時間？時間、人件費、ガソリン代。会社が負担するコストは非常に大きいです。

それなのに、なぜ・・・？

それには、実は理由があります。

- ◆会社近辺では、評判が悪いから。
- ◆担当がころころ変わり、お客さまに顔を出しにくいから。
- ◆お客さまに会社に来られたくないから。

等々いろいろ理由があります。

しかし、このような遠い会社が、大切な塗装工事後の定期点検やアフターフォローに、わざわざ来てくれるのでしょうか？

何かあった場合、すぐに駆け付けてくれるのでしょうか？

仮に駆け付けてくれたとしても、一時間後です。しかもその業者も他に仕事をかかえているうえで一時間かけて来るのです。

本当に気持ちよく来てくれますか？





これでは、安心できませんよね。

多くの大手会社が「アフターメンテナンス事業部」があるとうたっています。工事後のフォローもきちんとしていますよ、と。

しかし、工事後のお客さまに会いに行つて、メンテナンスを定期的に行うことは、非常にコストがかかります。

ですから、アフター事業部はありますがほとんど名ばかりで、実際は他の新規のお客さまの監督もしながら、片手間ですべての会社が多くの会社が多いのです。

そのため、契約後のお客さまをおざなりに扱い、そのような会社は半年や一年に一回、はがきだけ送ってきて終わり、という会社が多々あるのも残念ながら現状です。

多くのお客さまが家のことで不安に思っているのは、

「近くに、気軽に頼める業者がない」ということです。



工事後に不具合が発生して、一時間も離れたところにいる業者が本当に来ますか？  
片道一時間、往復二時間、作業時間一時間、人件費、ガソリン代。  
会社が負担するコストは非常に大きいです。

ほとんどのお客さまが、

「遠いところにある会社の担当者は、アフターに来ない」と言っています。

あなたが、今検討している業者は、あなたの家からどれくらい近いのですか？

その時だけのお付き合いならいいですが、家の工事が発生するたびにその他の業者選びをするのですか？

何か工事が発生するたびに何回も不安や心配をかかえ決断していくのですか？

## 「チェックその5」

### 意外と難しい色決め！ イメージと違う場合も・・・

せつかく10年に一度の塗替え。

あなたや家族みんなが気に入る仕上げでなければ満足できません。

その意味でも色決めは重要です。

「思っていた色と違っていた」「考えていたデザインじゃない」

こうしたクレームも、決して数少なくありません。

お客様の中には、「すべておまかせ」「好きにやっつけていいよ」という方もいらっしゃいますが、実際に仕上がりを見て気に入って頂かなければ、とても残念なことです。

まずは出来上がりのデザインやカラー・バランスを、口頭なり資料を使うなどして説明できるかを、確かめてみてください。この辺のことを曖昧にしたがる業者は誠意ある工事をしてはくれません。

実際に塗られた板の見本や、施工後のイメージができるカラーシミュレーションなど提示してくれるのか、チェックしましょう。

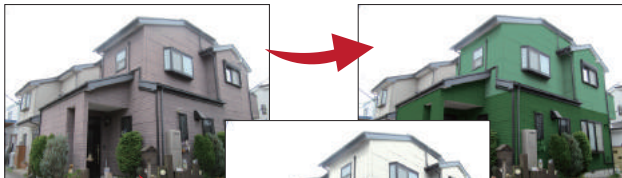
工事後に色が思っていたのと違って、やり直しはできません。

事前に確認できる業者に依頼しましょう。

### POINT 色決めはシミュレーションがお勧め。

施工前

カラーシミュレーション



工事前に施工後のイメージが付きやすい。

## 「チェックその6」

### お客さまアンケートを集めているか？

「御社が工事をした現場を見せてもらえますか？」

そうお願いしてみてください。

これが第一の魔法のことばです。

実際に工事をした現場に新たなお客様を連れていくという行為は、お客様とその業者が、工事完了後も良い関係を築いていなければ出来ないことです。

わざわざ足を運ばなくても、受け応えの様子で過去の工事などの程度のもだったかは おおよそ知ることができるとでしょう。

また、第二の魔法のことばは、

「『お客様の声』を、まとめたものを見せてくれませんか？」

お客さまの事をしっかりと考えている営業担当者にとっては、まさに、「よくぞ聞いてくれました。」でしょう。

スーパーでも、レストランでも、カレーのチェーン店でも、お客さまアンケートという制度があつて、お客さまからの苦言や苦情、お褒めの言葉などを会社として収集しているのを見たことがあることと思います。お客さまアンケートというのは、商売の基本なんです。

どんな商売でも、お客さまからの評判が悪ければ、誰も来てくれない事になってしまいます。



お客さまアンケートを集めている会社は、そこに敏感なのです。言い換えれば、どうすればお客さまに満足して頂けるか、常に考えているのです。

だから、あのように『お客さまの生の声』を大切な情報源にしている訳です。

クレームが会社に届けば、改善していくために必死になりますし、逆に素晴らしいお客様の言葉を頂けたなら、それが明日への活力となって工事に携わるもの全ての人が、より頑張ることも出来るのです。

外壁塗装の工事だって同じです。

いや、それ以上に、塗装はお客さまの尊い財産を守らせて頂くありがたい仕事だからこそ、アンケートを取らないといけないのです。

つまり、**お客さまアンケートを大切にしている会社ほど、良心的な工事をしている可能性が非常に高い**というわけです。

残念ながら、お客さまアンケートを実施していない業者もあります。しかし、きちんとした業者であれば、いつ、どなたに見せても良いように、大切に保管してあります。そこには、私たちの知りたい情報が山のように隠されているはずです。

ホームページをチェックするのも良いでしょう。最近ではホームページ上にたくさんのお客様のアンケートをのせる会社が増えています。**数が多い会社は安心**です。



## 「チェックその7」

### 盲点！ これだけは聞いておきたい質問とは？

よくある実話です。

お客様 A

「おたくの会社に工事を頼んだら誰がやってくれるのですか？」

大手の営業マン

「わかりません・・・」

大阪本社から神奈川県に出店した大手業者に対して、

お客様 B

「おたくの会社に工事を頼んだら誰がやってくれるのですか？」

大手の営業マン

「本社から来ます。」

お客様 B

「本社って大阪ですよね。」

大手の営業マン

「・・・」



大手会社になると、工事の依頼は外注になり、そのため営業マンでは誰が工事に入るのかわかりません。

そのため、その職人とコミュニケーションが十分にとれていないのが実状です。

家の塗装をするのは、会って話をした営業マンではありません。あなたと話をして家の情報を知っている営業マンが、職人と連携をとって、その職人が工事をします。

また、「知り合いに大工がいるから」とおっしゃるお客様がよくいますが、実際に塗装工事をするのは、その「大工さん」ではありません。

知り合いの大工さんが依頼した、「塗装業者」が工事をするのです。その塗装業者の職人の良し悪しによって工事の失敗も成功も決まってしまう、ということです。

ですから、必ず、次の質問を試してみてください。

「どんな職人さんがうちの家を工事するのですか？」

営業マンが答えられない場合は、担当と職人との伝達ミスやコミュニケーション不足で、不満足な結果になってしまう可能性が高いです。

職人教育や連携がしっかり取れている業者に頼みましょう。



## ■まとめ

- 「チェックその1」 いつが塗替え時期の目安なの？
- 「チェックその2」 その業者は創業から長く活動している会社であるか？
- 「チェックその3」 その業者は工事前・工事中・工事後の写真を多く撮っているか
- 「チェックその4」 その業者はあなたの家からどれくらい離れているか？
- 「チェックその5」 意外と難しい色決め！ イメージと違う場合も・・・
- 「チェックその6」 お客様アンケートを集めているか？
- 「チェックその7」 盲点！ これだけは聞いておきたい質問とは？

## おわりに

『はじめに』でもお話させていただきましたが、もう一度伝えさせてください。

家は高価な買い物です。

人生で一番高価な買い物ではないでしょうか。

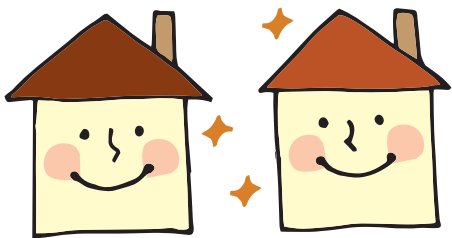
その大切な家には、皆様のたくさんの思い出が詰まっていると思います。新築で建てた時の「家」に対する気持ち。その時の、家族の思い出。

ご家族と一緒に家も年齢を重ねてきました。

その家を、また新築のようにきれいにしてあげること、その当時の大切な気持ちや忘れてたくない思い出がよみがえることでしょう。

そして、そのような気持ちをよみがえらせてくれる、信頼できる業者を選んでいただきたい、大切な家の塗替えを絶対に失敗しないで頂きたいと思い、今回のガイドブックを書かせていただきました。

これを読んでくださったあなたのお役に少しでも立てれば、少しでも、大切な家を守る塗装工事の判断基準になれば、非常に嬉しく思います。



さらに・・・、

このガイドブックをお読みになって、もっと詳しく知りたい方のために続編をご用意しました。

① もう少し塗装の知識を得たいと思われた方には

『塗料や外壁の種類に関するガイドブック』



塗料のことや、お家の傷み方などお家を守る方法が満載です。

② さらに業界の「裏話」を知りたい方には、今まで語られなかった

『暴露! 塗装業界のマル秘裏情報』



決して本屋には売っていないここだけの話が盛り沢山。業者の見極めにご活用頂きます。

ご希望の方は、最後に記載されている「連絡先」の

フリーダイヤル（0120-81-0344）までお電話ください。

こちらのガイドブックも無料で進呈致しますので、お気軽にお問い合わせください。

最後に、あなたの家が、最愛なる家族のために建てた家であること、そして、たくさんの喜びや苦労など思い入れがあることを、共に感じてお付き合いしてくれる業者に出会うことを心から切に願っています。

どうか、あなたの大切な家の塗り替えが、新しい想い出創りの1ページとなりますように。最後までお読みいただきありがとうございます。





これで安心！失敗しない外壁塗装マニュアル7つのチェックポイント  
平成21年4月2日初版発行《検印省略》

発行 / ユーコーコミュニティー株式会社  
神奈川県厚木市旭町 4-1-2 1F  
TEL : 0120-81-0344

Copyright©2016 ユーコーコミュニティー株式会社 all rights reserved.  
Printed in Japan 2016

これで安心！  
失敗しない外壁塗装マニュアル  
7つのチェックポイント



お客様でグループ創業 **50** 年  
ユーコーコミュニティー株式会社

<http://www.yuko-community.co.jp> | 塗装のユーコー

ウェブ検索 

